

本



ここに
やくねぎ
で知られ
る群馬県

下仁田にあった中小
坂鉄山（なかおさか
かなやま）をめぐる

時代小説「鷺の笛

中小坂鉄山秘聞」

（たなか踏基・著）

が幻冬舎ルネッサン

スから出版された。

同書は鉄山を掘る

元侍や商人、鉦夫た
ちが鉄鉦石を求めて

中小坂の試掘に挑む
物語。資金を幕府御

用商人である鴻池善

右衛門から借りたこ

とがきっかけで、幕

府勘定奉行の小栗上

野介忠順もこれを知

ることになる。遣米

鷺の笛

鷺の笛

たなか踏基



「鷺の笛 中小坂鉄山秘聞」

幻の洋式高炉と鉄山の物語

使節団で製鉄所や金 造船所へと計画が変

属技術を視察してい 更され、中小坂も幻

の鉄鉦山、高炉とな

鉦石を採掘して洋式 っていく。

高炉で溶かし、横須 著者は「日本初の

賀の製鉄所で鋼材を 近代製鉄は釜石だ

造る構想を描く。鉦 が、その一般常識に

は裏がある」とし、

小栗上野介による中

小坂の計画の存在を

知らしめたいと、執

筆に至った。3回に

渡り下仁田の現地で

精錬所跡地や坑道跡

を視察し、得た史料

を元に史実を盛り込

んだ。一方で「鉄山

と製鉄所の歴史を羅

列するだけでは一般

読者が飽きてしま

う」と、小栗上野介

を骨子に描くなど筋

書きを凝らした小説

に仕立てている。

幻冬舎ルネッサン

スによると、下仁田

町では同書の刊行を

機に中小坂の歴史を

生かした町おこしを

検討しているとい

う。全285頁、1

600円。